

殺虫剤

エトフェンプロックス粉剤

サンケイトレボン[®]乳剤

農林水産省登録 第17169号

性状：淡黄色澄明可乳化油状液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：4年

包装：100 ml × 60、500 ml瓶 × 20

有効成分：エトフェンプロックス (PRTR・1種) 20.0%

その他成分：有機溶剤・界面活性剤等 80.0%

(キシレン (PRTR・1種) 77.3%)

トレボン[®]は三井化学アグロ(株)の登録商標です。

特長

- 園芸作物の主要害虫防除に優れた効果を示します。
- 速効性とともに残効性に優れるため、長期間害虫の発生を抑えます。
- かんきつの訪花害虫に対して、飛来防止や摂食阻害など、特異な忌避作用があります。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	エトフェンプロックス を含む農薬の 総使用回数
稲	—	コブノメイガ	1000倍	60～ 150ℓ	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
		ツマグロヨコバイ、ウンカ類 イネドロオイムシ、イナゴ類	1000～ 2000倍					
		カメムシ類、イネミスゾウムシ	2000 倍					
水田作物、 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ、 ススキ、 セイタカア ワダチソウ 等の多年生 雑草が優占 している 休耕田	カメムシ類						
キャベツ	—	アオムシ、コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
はくさい					収穫7日前まで			
だいこん					収穫21日前 まで			
ねぎ		シロイチモジヨトウ	1000倍		収穫14日前まで	3回以内		3回以内
レタス		アブラムシ類			4回以内	3回以内		
すいか		アブラムシ類、コナジラミ類 ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫3日前 まで					4回以内
メロン		アブラムシ類、コナジラミ類	1000倍		3回以内	3回以内		
かぼちゃ		コナジラミ類						
なす		アブラムシ類	1000～ 2000倍		3回以内	3回以内		
ピーマン		カメムシ類、アブラムシ類						
オクラ		アブラムシ類、コナジラミ類	1000倍		2回以内	2回以内		
きゅうり		アブラムシ類、コナジラミ類						
にがうり		アブラムシ類 ウリノメイガ、ヨトウムシ類 カメムシ類、コナジラミ類	1000倍		2回以内	2回以内		
トマト	コナジラミ類							
さやえんどう 実えんどう	シロイチモジヨトウ ウラナミシジミ、ヨトウムシ							

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イトフェンプロックス を含む農薬の 総使用回数				
さやいんげん	-	ワタアブラムシ ウラナミシジミ マメノメイガ	1000倍	100～ 300ℓ	収穫開始 7日前まで	2回以内	散布	2回以内				
えだまめ		マメシンクイガ、カメムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ フタスジヒメムシ、ウコンノメイガ			1000～ 2000倍				収穫14日前 まで			
かんきつ		ハスモンヨトウ			1000倍	200～ 700ℓ				3回以内		
		コアオハナムグリ ケシキスイ類	1000～ 2000倍	60～ 150ℓ	2回以内							
		小麦	ヒメトビウンカ アブラムシ類			2000倍			100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	4回以内	4回以内
とうもろこし		アワノメイガ、アワヨトウ	1000倍	100～ 300ℓ	収穫開始 7日前まで	3回以内						
ばれいしょ		アブラムシ類									アブラムシ類 ナカジロシタバ アブラムシ類	
かんしょ		アブラムシ類				アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ						
さといも		アブラムシ類	1000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで						2回以内	2回以内
やまのいも やまのいも (むかご)		アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ				マメシンクイガ、アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメムシ ハスモンヨトウ フキノメイガ、ウラナミシジミ アズキノメイガ						
豆類 (種実、ただし、 だいず、あずきを を除く)		マメシンクイガ、アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメムシ ハスモンヨトウ フキノメイガ、ウラナミシジミ アズキノメイガ										
だいず		マメシンクイガ、アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類、フタスジヒメムシ ハスモンヨトウ、フキノメイガ、 ウラナミシジミ、ウコンノメイガ アズキノメイガ										
あずき		マメシンクイガ、アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメムシ ハスモンヨトウ ノメイガ類、ウラナミシジミ										
てんさい		ヨトウムシ	1000～ 2000倍	200～ 400ℓ	収穫14日前 まで	3回以内					3回以内	
茶		チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	2000倍		摘採21日前 まで	2回以内			2回以内			
ふき		コナジラミ類 フキノメイガ、ヨトウムシ	1000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	3回以内			3回以内			
しょうが		ハスモンヨトウ			収穫7日前まで							
未成熟ささげ		アブラムシ類			収穫前日まで	2回以内				2回以内		
モロヘイヤ		アザミウマ類	1000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	1回			1回			
葉しょうが		ハスモンヨトウ			収穫14日前 まで	3回以内			3回以内			
さといも (葉柄)	収穫7日前 まで											
うど	アブラムシ類	根株養成期 但し、収穫 45日前まで			2回以内	2回以内						

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イトフェンロックス を含む農薬の 総使用回数						
あしたば		アブラムシ類	2000 倍	100～ 700ℓ	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内						
たばこ		タバコガ、ヨトウムシ			1000 倍	－		2 回以内	6 回以内	2 回以内				
		アブラムシ類												
つつじ類		ツツジグンバイ	2000 倍		幼虫発生期	6 回以内		散布		6 回以内				
		ケムシ類 シャクトリムシ類	4000 倍											
		オビカレハ	2000 倍											
樹木類 (つつじ類、 ポインセチア ソテツを除く)		ケムシ類 シャクトリムシ類	4000 倍		幼虫発生期						6 回以内	散布	6 回以内	
		オビカレハ	2000 倍											
		コナジラミ類	1000 倍											
ポインセチア	－	ケムシ類 シャクトリムシ類	4000 倍		幼虫発生期									6 回以内
		オビカレハ	2000 倍											
		クロマダラソテツシジミ	2000～ 4000 倍											
ソテツ		ケムシ類、シャクトリムシ類	4000 倍	－	6 回以内		散布		6 回以内					
		オビカレハ	2000 倍											
		シロイチモジヨトウ	1000 倍											
宿根かすみそう		ヨトウムシ	2000 倍	100～ 300ℓ		発生初期		2 回以内		2 回以内				
	りんどう	ヒラズハナアザミウマ												
きく カーネーション		アブラムシ類	1000 倍			－				2 回以内	3 回以内			
ゆり		ハスモンヨトウ												
せり	水田	アブラムシ類	1000 倍			100～ 150ℓ					収穫 30 日前 まで	2 回以内	2 回以内	
せり (水耕栽培)	ガラス室等の 施設													
みずいも	水田	オキナワイナゴモドキ									収穫 14 日前 まで	3 回以内	3 回以内	
みつば	－	アブラムシ類	200～ 700ℓ		収穫 21 日前 まで 但し、伏せ込 み栽培は 伏せ込み 前まで	2 回以内	2 回以内							
マンゴー	－	チャノキイロアザミウマ			収穫 7 日前 まで	3 回以内	3 回以内							

〔地上少量散布の適用内容〕

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イトフェンプロックス を含む農薬の 総使用回数
稲	－	ウンカ類	300～600 倍	25ℓ	収穫 21 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
		ツマグロヨコバイ イネミスズムシ イネドロオイムシ	300 倍					
		カメムシ類	600 倍					

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 散布器具、作業衣等は桑用と必ず区別してください。
- 水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対流さず、適切に処理してください。
- 散布に際してはミツバチ及び巣箱に絶対かからないようにしてください。
- 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意してください。
- ねぎのシロイチモンジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布してください。
- きくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさけてください。
- 本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に関する注意事項

- 本剤は水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養魚池等周辺での使用は避けてください。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので、十分注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。